

ミシガン実践的英語演習

2017年10月22日(日)・29日(日)、12月18日(月)-23日(土)
西早稲田キャンパス、湘南国際村センター

必修科目である「ミシガン実践的英語演習」を湘南国際村センターにおいて実施し、本プログラム1-3年生の13名が受講しました。合宿に先立ち、講師に本学名誉教授の篠田義明先生、昭和女子大学教授の金徳多恵子先生を迎えて事前講義を実施しました。自ら伝えたい意味を持つ単語を正確に選択すること、さらにその単語の順番・配置などによっても読者に伝わる印象が異なることなどを学びました。合宿では、講師にJack Fishstrom先生(ミシガン大学 Lecturer IV)をお招きし、国際的な学術誌や国際会議で成果発信するための理論構成やテクニカルライティング、プレゼンテーション法などを学びました。



事前講義の様子(左:篠田先生)



▲合宿での講義の様子。ミシガン大学スクールカラーのシャツ着用のFishstrom先生

北京大学-早稲田大学ジョイントワークショップ(共催)

2018年1月15日(月) 西早稲田キャンパス55号館N棟第1会議室・竹内ラウンジ

北京大学とのジョイントワークショップをSGUナノ・エネルギー拠点と共催しました。北京大学とは毎年交互に行き来してワークショップを開催しています。北京大学から博士学生4名、本プログラムから学生5名が参加し、ショートプレゼンテーションとポスター発表を行いました。また、北京学生のための交流会を企画するなど、研究交流に留まらず、積極的に親睦を深めました。



ポスターセッションの様子

モナシュ大学-早稲田大学ジョイントワークショップ(共催)

2018年2月14日(水) 西早稲田キャンパス55号館N棟第1会議室・竹内ラウンジ

本プログラム連携機関であるモナシュ大学とのジョイントワークショップをSGUナノ・エネルギー拠点と共催しました。本プログラム学生がモナシュ大学を訪問して講義や実験演習を受講したり、企業訪問したりするなどの活動から始まり、本プログラム必修科目である「研究機関実習」を契機に共同研究が促進され、共著論文発表に至るなどの成果も出ています。これらの活動をJoint Supervision Program(JSP)として発展させ、2016年度に箇所間協定を締結しました。すでに1期生2名がモナシュ大学とのJSPを修了し、両大学学長名の記載された修了証を授与されています。



▲ジョイントワークショップ会場の様子